

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第4回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成26年12月11日(木) 午後3時00分から 午後4時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 203会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、矢野 義光委員、戸張 英男委員、 大脇 利彦委員、越川 千春委員、飯島 芳子委員
欠席委員(者)氏名	峯尾 武巳委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 伊東 孝 いきいき推進課 課長補佐兼 介護給付係長 海老沼 浩行 高齢福祉係長 酒匂 淑子 介護認定係長 稲見 絹子 いきいき推進課介護給付係 秋田 真菜美
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	(1) 第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の 素案について (2) その他
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	2名
会議資料の名称	・第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 素案
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	戸張 英男委員、越川 千春委員
その他の必要事項	なし
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	

開 会	
会長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年10月から予定されていた消費税10%について、増税時期を18か月先送りするとの表明があった。介護保険制度改正への影響について、国の動向を注視する必要がある。また、12月19日からはパブリックコメントを開始する予定と事務局から聞いている。忌憚なきご意見・ご審議をお願いしたい。</li> </ul>
議事 中村会長	議事の前に戸張委員、越川委員を議事録署名委員に指名する。
議題 (1) 第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案について	<p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案について、抜粋し以下の内容を説明。</li> </ul> <p>第1章 計画策定にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国全体及び吉川市の高齢化率について説明。吉川市の高齢化率は全国地に比べ低くなっているが、団塊の世代高齢期に入っていることから、今後伸びていくことが見込まれる。</li> <li>・介護保険制度の改正について説明。また、計画の法的根拠及び期間について説明。本計画の期間は平成37年までの見通しを見据えるもとの、3か年とする。</li> </ul> <p>第2章 高齢者の現況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川市の総人口及び要介護（要支援）認定者数の推移について説明。吉川市は要支援の割合が多い傾向がある。</li> <li>・介護サービス利用者（受給者）数の推移について、居宅サービスと施設・居住系サービスの種類についてと合わせ説明。</li> </ul> <p>第3章 アンケート調査結果にみる施策ニーズと第5期計画の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の方法及び回収状況、アンケート結果にみる重点施策方向について説明。在宅介護を支援する施策の充実、介護者の負担を軽減する施策が必要。また、高齢者の健康づくりや閉じこもり対策の推進が必要である。</li> </ul> <p>第4章 計画の基本理念と基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の基本理念を「高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしく暮らせる支え合いのまち・吉川市」とし、吉川市の人口及び要介護（要支援）認定者数、介護サービス利用者（受給者）数の推計を行い、計画策定を行う。特に平成37年度には前期高齢者数を後期高齢者数が上回る見通しがある。</li> <li>・計画目標と施策の体系について説明。基本目標を5つ設定し、1つの基本目標に対し1つから6つの施策を策定している。日常生活圏域については第5期計画から引き続き3圏域で行う考えである。また、地域包括ケアシステムの構築について、イメージ図と構築に向けての重点施策について説明。</li> </ul>

	<p>第5章 目標に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）について説明。介護予防給付の一部（訪問介護及び通所介護）が地域支援事業とし市町村が行うことになる。</li> <li>・介護予防の推進と健康寿命延伸として介護予防の普及・啓発及び推進、生きがい活動・社会参加の促進として生きがい活動や社会活動への支援の充実、自立・安心と尊厳のためのサービスの充実として介護保険外の生活支援サービスや、従来から実施している安否確認や緊急時対応の各種事業、見守りネットワークの充実や高齢者の権利擁護を推進する。特に認知症高齢者対策については、今まで以上に啓発・理解向上や家族介護者支援の充実に努める。</li> <li>・介護保険サービスの充実については居宅サービス及び地域密着型サービス、施設サービスについての充実や予防サービスの提供体制の構築、サービスの質の向上のための基盤整備を行っていく。また、暮らしやすいまちづくりも引き続き推進していく。</li> </ul>
中村会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご質問やご意見はあるか。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体をみると網羅されている。各論の細かいところが出ていないが、以下のとおり質疑がある。</li> <li>①吉川市は大都市の影響が大きいのではないかと。また、どのように影響するのか。</li> <li>②一般市民が見たときに分かりにくい専門用語が多い。意味を理解しないまま使っている言葉もある。</li> <li>③施策が多数あるが、マンパワーの確保についてはどのように確保していくのか見通しが知りたい。</li> <li>④カテゴリーの説明だけでなく中身の説明や例示があった方が分かりやすいのではないかと。</li> <li>⑤包括ケアと地域ケアなど、一般の人には分かりにくいものの説明をどのように行っていくか。</li> <li>⑥生活困窮している高齢者への対応について。</li> <li>・市民への説明をする上で、整理する必要があると思われる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で回答可能なものに対し、以下のとおり回答。</li> <li>①事務的にみると、吉川市はサ高住の相談が近隣に比べ多い。都内からの転入も多く、理由としては交通の便が良いためと聞いた。</li> <li>②専門用語が多いことは確かで、可能な限り注意書きを入れているが、更に細かく注意書きをするか用語集として付属資料にするかを検討する考えである。</li> <li>③現時点での回答は難しいが、事業者だけでなく市職員についてもマンパワーが必要であると考えている。吉川市としても平成28年に向けて組織改革があるため、十分検討していきたい。</li> <li>⑥吉川市に限らず全国的な問題である。消費税の財源から一部補填する案についての情報が現時点で国から降りてきていないが、情報を待ち適切に対応する考えである。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税時期の先送りや選挙の開催など、現時点で当初の予定からずれが生じている。今後、計画の修正が必ず必要になるので、あくまで現状の計画であることを計画に記す必要があると思う。</li> </ul>

事務局	・いずれにしても、これは4月からの計画であるので介護保険料も含め2月初旬には固める必要がある。パブリックコメントについては、指摘があったとおりに今後改正見込みがあることを記載します。
中村会長	・パブリックコメントの期間はいつか。
事務局	・1カ月間で12月19日から1月20日まで。パブリックコメント終了後、正式な素案を再度皆さんに示し、協議会としての案をいただければと考えている。
中村会長	・言葉の表現や内容について、一般市民に分かりやすい文章を心掛けてほしい。また、人の確保・介護従事者の育成が非常に難しい問題であると思うので、心して行ってほしい。
中村会長	・他にご質問やご意見はあるか。
越川委員	・読むだけで大変というのが正直なところである。
事務局	・前回、地域包括支援センターのイメージなどが分かりにくいと話があった。それが市民の気持ちであると思うし、地域包括ケアシステムについても、分かりやすく伝える工夫が必要と考えている。協議会委員の皆さんにはぜひご意見・ご助言いただければと思う。 ・先ほどの質疑(④)についても、文章では分かりにくくイメージが湧きにくいと思うので、具体的な施策や計画を体系に直し伝える工夫を行っていくので、他にご指摘などがあればください。
矢野委員	・吉川市の当初予算についての議会はいつか。
事務局	・3月に行われる。
矢野委員	・交付金などについては国から通知が届き次第、随時対応していくということか。
事務局	・介護報酬の改定を進めているが、3年間の介護サービスの伸びについても十分な推計が必要であると考えている。第5期の介護保険料の基準額が4,583円となっており、下がることはないと思うが、どのくらい金額を上げるかについては検討段階である。
飯壺委員	・年を重ねていくと、将来的に女性が残りひとり暮らしになることが多い。近所でも同じで、ご主人に先立たれ横浜の施設に入った人や東川口の施設に入った人がいる。老人ホームに入れて生活ができていても、「慣れない」「寂しい」気持ちから電話がかかってくる。吉川市内でも有料老人ホームなど施設の充実が必要だと感じた。
事務局	・吉川市内の有料老人ホームは現在2施設あるが、ほぼ満床となっている。今後の有料老人ホームの建設については吉川市に建設する魅力があるかどうかの民間の判断になってしまう。

飯島委員	・やはり「寂しい」「人恋しい」「話がしたい」、これらはみんなが願っていることだと思う。ふれあいサロンなどは行く人が決まってしまうっていて、入りきれないのが現状だと思う。気持ち的には薬に頼ってしまう人もいる。
事務局	・元気であれば施設でという選択もあるが、家でみんなと過ごしながら、というのが地域包括ケアシステムではないかと思う。
矢野委員	・施設入居については、本人の考えと家族の考えにギャップが存在するので、かなり難しい問題である。やっとのことで施設に入居できても、本人が納得していないことも多い。ただ在宅ではできないこともある。また、医療機関から退院し在宅予定だった人の緊急での入所についても今後増えると思うが、対応が難しい問題である。
飯島委員	・いきいき体操を現在受講中だが、口腔衛生についてはテレビでも取り上げられていて非常に関心が高い。施設ではどのように取り組みがされているのか。また、誤嚥を防ぐために参加したが、誤嚥が肺炎に繋がり死亡することも多いと聞いた。在宅介護を受けている人への往診はあるのか知りたい。
戸張委員	・歯科医師会として要請があれば行っているのですが、まずはケアマネジャーへの相談をお願いしたい。実際の件数は少ないのが現状ではある。
飯島委員	・誤嚥は噛む力と歯がしっかりしていないと飲み込む力が弱くなり誤嚥に繋がり、日本では死亡する人が増えていると聞いた。
矢野委員	・相談内容として1番多いのはやはり認知症で90%程、次に運動器症候群（ロコモティブシンドローム）で50%程、その次が嚥下 ・口腔衛生となっている。無視できない問題である。
戸張委員	・認知症の人は食べ方が違い、何でも口に入れてしまう。噛まないで飲み込もうとするので誤嚥で済まず、窒息となることも多い。
矢野委員	・最近では職員研修も充実し、介護福祉士でなくともたんの吸引など施設内で行えるようになってきている。少しずつだが良い方向に変化していると思う。
戸張委員	・きよみ野クラブという老人クラブでは、過去2回くらい口腔衛生について話しているので、自治会などから要請があれば歯科医師会として対応し、介護の前の状態から予防の大切さを啓発したいと考えている。テレビからの情報を得て関心を持つことも大切である。
飯島委員	・話を聞いて安心した。今後もよろしくお願ひしたい。
中村会長 委員全員	・他にご質問やご意見はあるか。 <u>無しという声あり</u>

<p>議題 (2)その他</p> <p>中村会長 委員全員</p> <p>事務局</p> <p>中村会長 委員全員</p> <p>閉会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは議題4 その他に入ります。何かあるか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無しという声あり</span></li> </ul> <p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日協議した内容を踏まえ、素案については先ほど伝えたとおり12月19日からパブリックコメントを実施する。</li> <li>・また、素案のパブリックコメントに合わせ、条例についても2本パブリックコメントを行う。内容は包括支援センターについてと介護予防支援事業所について、国の基準で作成していたものを市の条文に置きかえるためのもの。</li> <li>・結果については、次回の協議会で報告をする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かご意見等あるか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無しという声あり</span></li> </ul>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成27年1月20日</p> <p>署名委員 戸張英男      署名委員 越川千春</p>	